



通学路のブロック塀撤去

一般質問で

も取り上げた南郷地区の通学路のブロック塀が夏休み中に安全なものになりました。何かある前に改修できてよかったです。



助成制度の拡充(下記参照)に加え、市役所や業者さんの呼びかけなどの後押しもあつたと聞きます。

私有地ですと自己負担はどうしても残りますが、通学路や緊急避難路など安全確保が大切な場合かなりの額が助成になります。

ぜひ市の窓口にご相談下さい。

都市政策課 建築住宅係

21-1152(市役所3F)

信じられない原発回帰のエネルギー政策

南海トラフ地震は広い震源域の直下型巨大地震。「生きている間に来てほしくない」と思いますが、いつ来てもおかしくない地震です。

原子力災害に備えている余裕などありません。安全を担保できるよう少なくとも原発再稼働をあきらめ、核燃料も安全なところに移すことを考えるのが筋です。

福島事故処理もいまだにできないのに、老朽原発の運転期間延長をするとか、原発を新設すとか無責任にも程があると思います。

ウクライナでは原発への攻撃の新たなリスクが高まっています。

制御出来ないのですから、核施設ほど恐ろしいカードはありません。

「ブロック塀等耐震改修促進事業費補助金」

- ・改修、建替え、除却費用
- ・避難路沿道・通学路等で条件により単価や限度額が違います

※今年度から通学路及びその他市長が認めるものについて敷地限度額がなくなりました

【通学路】市内の小学校が決定し、市教育委員会が承認した経路

9月定例会はじまります

8/31(水)～9/30(金)

一般質問(9/12(月)・

13(火)・14(水)や202

1年度の決算・補正予算審

議等を行ないます。

コロナ感染に自治体は責任もって対処できているのか

「家族が感染したが、保健所から

も何の連絡もなく、重症化リスクの高い自分の方がやむを得ず自費で

ホテルに避難して食べ物などを自宅に届けた。市役所に相談しても何も

してはもらえなかった。」「濃厚接触なので検査をしよう」と電話をあち

こちかけたが通じなかった」家族に感染がた方から話を聞きました。

感染爆発の特別な事態だからやむを得ない、正しいのか。8月の1ヶ月だけで4000人を超す市内感染

がありました。そのまわりに何倍もの関係者がいます。市民の困り感

は半端ないです。

お祭りの練習などが始まったりしていますが、「お祭りで新たな感染

拡大が起こり、その後の子どもたちの大切な行事などができなくな

ないかが心配だ」というお母さんから困惑の声ももらいました。

国の制限なし政策をなぞっているだけでは市民の命も健康も生活も

守れない。市に総合相談窓口をつくるとか、生活支援を行なうとか、独自の支援策を考えてほしいと思

います。必要な対策の検討を求めます。

市内でメガ風力発電計画

ウインドパーク遠州東部風力発電事業の環境アセスが準備書とい

う段階に進みます。

掛川市の最北端八高山付近に中電関連会社シーテックが建設を予定しているメガ風力発電です。再来

年の工事着工、2028年の運転開始を目指しています。

9/28から1ヶ月間シーテックのホームページ、市役所環境政策課、

大東・大須賀支所地域振興係で資料が縦覧でき、意見が出せます。

水源涵養林であり、土砂災害誘発地域でもある山の尾根の開発。タ

カの生息・渡りの中継地でもありませんし、豊かな自然を売りにしている

地域です。

最大級という規模の風力発電施設の立地として適しているのか私は

まだ疑問です。環境破壊につながる再生可能エネルギーは持続可能な

地域循環型エネルギーとはいえないと考えるからです。



千日紅の一種
ファイヤー
ワークス